

# 産業廃棄物処理業者における低炭素化の取組状況について

タマタイ産業株式会社 代表取締役  
(一社) 岡山県産業廃棄物協会 会長

大塚 雅司

## 1. はじめに

**地球環境を視野に入れた、未来志向の事業展開を！**

地球的な環境問題が重要なテーマとなっている中、  
当社は、資源を最大限に利活用するため、緑化事業や  
建築廃材のリサイクル事業などに、いち早く取り組んで  
きました。

今後も、都市の緑化・美化を主業務とする役割を自覚し、  
地球規模でのエコロジーに貢献する事業展開をめざし、  
果敢に挑戦していきたいと思えます。

本日は、産業廃棄物処理業者の立場で、低炭素化をテーマに  
当社の事業概要と岡山県産業廃棄物協会における取組状況等  
について、お話ししたいと存じます。

## 2. タマタイ産業の業務概要

- ・ 木材チップの生産事業
- ・ 樹皮を素材とした緑化資材、堆肥・肥料の生産
- ・ 産業廃棄物及び一般廃棄物の処分業・収集運搬業

本社事務所 岡山市北区神田町2-1-25

金川工場 岡山市北区御津下田字竹原450

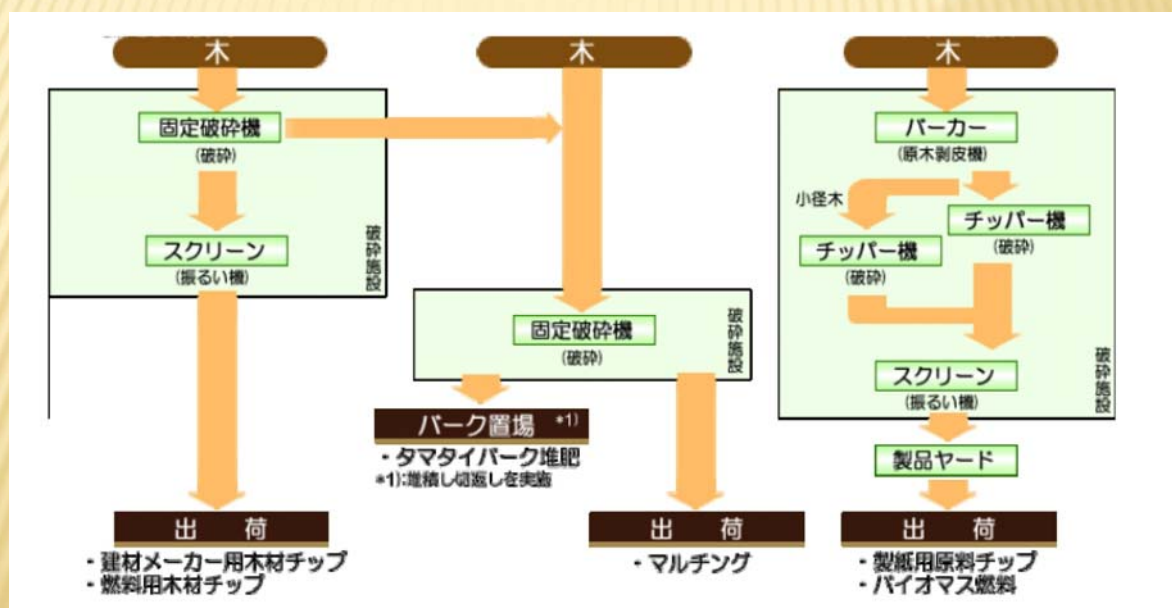
建部工場 岡山市北区建部町大田字国松1425

### 沿革

昭和14年	玉野耐火礦業(株)創業 耐火煉瓦原料製造
昭和33年	採鉱山の木材チップ化事業に着手(金川工場)
昭和55年	木材チップ化事業を独立しタマタイ産業(株)創立
昭和57年	樹皮加工事業に着手(建部工場)
平成元年	産業廃棄物処分業許可(木くず等の破碎、堆肥化)
平成11年	産業廃棄物収集運搬業許可
平成16年	一般廃棄物処分業、一般廃棄物収集運搬業許可

## 3. 処理工程

伐採木、木くず、樹皮とも「破碎・ふるい」が基本です。





## 4. 木材チップの生産事業（金川工場）

木材チップは、製紙原料、建材原料です。

- ・ 良質な国産の原木を中心に、1日約100tのチップを加工・生産しています。
- ・ 一般廃棄物及び産業廃棄物の中間処理業として、主に木くずを破碎し、チップを生産しています。



## 5. 緑化資材の生産事業（建部工場）

利用価値のあまりなかった木材の樹皮を緑化資材に加工・生産しています。

- ・ 樹皮を素材としたマルチング材や緑化基盤材など。
- ・ 樹皮を素材とし、バーク堆肥等の有機肥料。

（岡山県エコ製品認定）



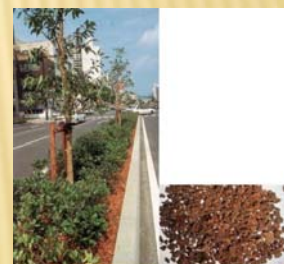
## 6. マルチング材とは



マルチング (Mulching) とは、土の表面を資材で覆い、さまざまな効果を得るもので樹皮を使ったマルチング材には次のような効果があります。



- 水分の保持
- 雑草の発生をおさえる
- 土壌構造の改善
- 地温の急変の抑制
- 飛散防止



## 7. 低炭素化の取組み

### ■エコアクション21 認証取得

優良産業廃棄物処理業者認定 …平成24年

### ■再生可能エネルギー固定価格買取制度 (FIT) 認定

…平成24年

固定価格買取制度とは、

再生可能エネルギー源（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）を用いて発電された電気を、国が定める固定価格で一定の期間電気事業者調達を義務づける制度で、平成24年開始。

木質バイオマスの調達価格は、「間伐材等」「一般木質・農作物」「建設資材廃棄物」「一般廃棄物その他」の区分に応じ毎年設定さる。



## 8. 岡山県産業廃棄物協会の取組み

- ・現在の会員数は約420社、うち処分業が約140社で、おおむね横ばい状態。
- ・主な事業は、更新許可講習会の案内、各種研修会の開催、相談業務。また9支部による不法投棄物撤去作業（クリーン作戦）、青年部会による環境学習等の啓発事業など。

### ■低炭素化の取組■

- ・優良認定を進めることでISO14001やエコアクション21に取り組み、低炭素化に繋がる。  
（優良認定手続き、エコアクション21、電子マニファストに関する研修会、説明会、相談会の開催など）
- ・啓発事業の実施を通じ、参加者のエコ・リサイクル意識の高揚を図り、低炭素化に繋がる。

## 9. 低炭素化に向けた問題点と課題

### ■推進上の留意点

- ・取り組む者にとって、分かりやすく、メリットのある事業でなければ続かない。

### ■優良産業廃棄物処理業者認定制度

- ・優良認定業者であることの優位性（メリット）を拡大する。

### ■買取制度における木質バイオマス調達価格

- ・建設資材廃棄物の価格は低い。

- ・間伐材等（間伐材、主伐材）32円
- ・一般木質・農作物（製材端材、もみ殻、稲わら等）24円
- ・建設資材廃棄物 13円
- ・一般廃棄物その他（剪定枝、紙、食品残さ等）17円

## 10. 産業廃棄物業界における今後の取組み

資源循環の時代を向かえ、我々業界もサービス業から「資源循環産業」へと変わっていかねばならない。循環型社会・低炭素化社会を創造する担い手の一員として、地域と社会に貢献できる業界を目指したい。

### ■環境配慮の取組みの推進

- ・ 適正処理の確保、環境配慮型設備や省エネ対策の導入、収集運搬の効率化等の推進。
- ・ 優良産業廃棄物処理業者の拡大。
- ・ 啓発活動の推進。

### ■人財育成

- ・ 資格制度も視野に入れた人財育成の取組み。

### ■関係各所との連携

- ・ 行政、連合会、都道府県協会、会員企業との連携の推進。

## おわり

ご清聴ありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいたします。